

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

秋も深まり、冬の足音がもうそこまで迫ってきています。釜石支援センターも毎日ボランティアの方が滞在し、にぎやかに活動を始めています。被災地ではこれから初めての冬を迎えようとしています。まだまだみなさんの支援が必要です。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

### 【飯野司祭・2度目の派遣】

前回の支援室ニュースでは、派遣される教役者が未定とお伝えしましたが、この度、飯野司祭が2度目の派遣をされることが決定いたしました。まだまだ現場が混乱している中に派遣され、多くの困難の中、手探りで支援を続けた飯野司祭は、今月22日(土)より11月4日(金)までの2週間、お働きくださいます。飯野司祭の働きのため、お祈りください。

### 【釜石支援センターの活動】

釜石ベースブログ（海老原祐治ディレクター発信）より抜粋

10月5日

午前は十時までセンターにて雑務。それから幼児学園の子ども礼拝。園長と打ち合わせなど。足湯で使う大型のコンロなどをお借りできました。

午後はセンターで来場者対応。二時から四時半までに9人が来場。みなさん冬物の服を求めています。家を流された方は冬物の服が手薄です。ほとんどもってない方もいます。ある方の言葉が印象的でした。「この歳になって姉のお下がりを着るとは思ってなかったわよ」とても被災地らしい言葉だと思います。みなさん少しは自分で買い、それから身内からもらい、そして私たちのところへ求めにきます。

私たちはどれぐらいの冬服を持っているのでしょうか。あまりオシャレでもなく、衣装もちでない私でもシャツで十五枚、セーターやトレーナーでも十枚、ジャケット・コート・ジャンパーなどでも十枚ぐらいは持っています。ご覧になっている皆さんはもっと多いのではないのでしょうか。特に女性の方などは。それでもきっとまだ足りないとお感じなのでしょう。被災者の方がこの冬用意できる冬服はどれぐらいなのでしょう。私の半分か、あるいはもっと少ないか。

ある方が明るい色のコートをはおり、「私にはちょっと派手かしら」とつぶやきました。少しはにかみながら。私が「そんなことないですよ、素敵ですよ、それで銀座だって歩けますよ」と言うと、その方は嬉しそうに笑って、私のお尻をポンと叩きました。服選びで一喜一憂する、そんなありきたりな日常が彼女たちにも少しずつ戻ってきています。

最近ご婦人が旦那様を連れてくるパターンが増えてきました。家族で来てもらえる場所になるといいと思います。本日の来場者は10名。明日はお休みの予定です。

10月13日

晴天。うららかな一日。

本日のワークは全員で写真洗浄。前回、前々回に続きTちゃんと家族の写真をきれいにしました。名残惜しいけどTちゃんの写真もいよいよ終わりです。意識したわけではないのですが、洗浄する写真がどんどん時をさかのぼっていきます。よちよち歩き時代から誕生直後の写真になり、我々が最後に手がけたのが、ご両親の結婚式の写真。多くの人が祝福した結婚式があり、Tちゃんが生まれ、そのTちゃんもたつぷりと祝福されて育ちました。その祝福はきっといまも続いていることでしょう。写真をみているとそんな気がしてきます。さあ明日はセンターの歴史上初の4チーム体制。4チームが同時に活動します。さてどうなることやら。本日は来場者も少なく、穏やかな一日。昨日訪れた気になっていた方が本日も来てくれました。センターが憩いの場になればいいと思います。

夜、水産会社に再就職が決まった常連のKさんが秋刀魚を届けてくれました。ご馳走さまでした。今夜は刺身でいただきました。明朝は塩焼きです。やっぱり秋刀魚は美味しいですね。感謝。

最近被災者の方がいろいろと差し入れをして下さいます。飲み物や果物、ちょっとしたお菓子など。我々はそれを拒むことはしません。ありがたくいただいています。ときどきお金を包んでくる方がいますが、それは断ります。我々の立ち位置はあくまでも被災者と同じ地平にあります。関係として対等であり、互いに学び合う関係であります。ともに笑い、ともに悲しみ、互いの存在に敬意を払うことができればよいと思います。いっしょに歩こうとはそんなことのように思えます。

本日の来場者は6人。

※ 震災支援室ブログでは、毎日の釜石支援センターでの活動の様子を掲載しています。日々移り変わる釜石の様子を、ぜひご覧になってください。URL : <http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com>

### 【支援品についてのお願い】

このところ、突然品物が送られてきたり、支援品として提供できない品質のものが送られてきて現地が困惑するケースが出てきています。皆さんのお気持ちはありがたいのですが、数の調整や時期の調整をしないと、少人数で運営している釜石支援センターの働きが滞ってしまいます。そこで、支援室では物資の情報の集約・調整を函館聖ヨハネ教会の藤井直姉にお願いしています。なにとぞ、支援品の提供に際しましては、藤井直姉に連絡し、数量や時期の調整を受けてから発送いただけるよう、お願い申し上げます。

### 【大友先生と行く釜石ボランティアの旅】

支援室では毎月1回のペースで、“釜石でのボランティアの旅”を企画しています。申込期限が短いものもございますが、ぜひご参加ください。釜石でのボランティアの作業は、写真洗浄や仮設住宅の訪問、仮設住宅談話室でのお茶の会などが中心となります。誰でもできることばかりですので、この機会に多くの方に参加していただければと願っています。

日 時：2011年11月9日(水)夜～14日(月)朝  
引 率：大友正幸司祭(札幌キリスト教会)  
費 用：10,000円(※教区からの補助が適用された上での自己負担額です。)  
(※食費は自己負担です)

募集定員：2～3名

日 程：11月09日(水)24:00	苫小牧発 川崎汽船フェリー
11月10日(木)07:30	八戸着・朝食
	海沿いを南下し、釜石へ
11月10日(木)14:00頃	釜石支援センター着
	周辺の視察・神愛幼児学園へ挨拶等
11月11日(金)	ボランティア
11月12日(土)	ボランティア
11月13日(日)10:30	聖餐式
	聖餐式が終了後釜石を出発
11月13日(日)22:00	八戸発 川崎汽船フェリー
11月14日(月)07:00	苫小牧着・解散

※ 食費は自己負担となります。尚、釜石支援センターでは朝食150円、夕食350円にて提供しています。(清算は現地にて各自行っていただきます。)

※ フェリーの船室は“2等船室”(いわゆる雑魚寝)を想定した費用になっています。船室等をご利用の場合の差額は自己負担です。

※申し込み締め切りは11月4日(金)です。

### 【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nsskk.org/walk>で、ご覧いただけます。

### 【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

### 【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377  
Eメールアドレス：saigai@nsskk-hokkaido.jp  
釜石ベース：090-6999-7840